

## 第4回盛岡地区新設高等学校統合検討委員会 議事録

期 日 令和5年2月8日(水)  
時 間 午後1時30分～午後2時36分  
会 場 不来方高等学校 第一会議室

### 1 開会 (不来方高校副校長 菊池由美子)

### 2 委員長あいさつ (不来方高校校長 清川義彦)

- ・今年度の高校入試に臨む受検生が、令和7年度に統合新設校の3年生になるということもあり、受検生の動向はもとより、関係者や地域の方々からの統合への高い関心や機運を感じている。
- ・本日は今年度最後の委員会となるが、県教育委員会より新設校校名(案)について報告があるとともに、統合新設校の学びに関する重要な事項について協議いただく。生徒や地域住民の大きな期待に応えられる学校づくりに御協力いただきたい。

### 3 報告 (進行 委員長 清川義彦)

#### (1) 盛岡地区新設高等学校校名(案)について(学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男)

- ・資料4ページを参照しながら報告。県教育委員会において、統合新設校校名(案)を推薦順位1位の「岩手県立南昌未来高等学校」または「岩手県立南昌みらい高等学校」とすることで決定した。なお、漢字表記の「未来」とするか、ひらがな表記の「みらい」とするかについては、この統合検討委員会の決定をもって県教育委員会の決定とすることも決められた。この後、協議いただきたい。
- ・質問、意見なし。

#### (2) 統合課題検討小委員会 (盛岡南高校副校長 村山薫美)

- ・資料を読み上げて報告。質問、意見なし。

#### (3) 教育内容検討小委員会 (不来方高校副校長 菊池由美子)

- ・資料を読み上げて報告。質問、意見なし。

### 4 協議 (進行 委員長 清川義彦)

(委員長) 県教育委員会から報告のあったとおり、協議の(1)に「盛岡地区新設高等学校校名(案)について」を追加してよいか。

[承認される]

- ・協議題の番号の協議の(1)に「盛岡地区新設高等学校校名(案)について」を挿入し、既存の協議題を順次後に送ることを確認。

#### (1) 盛岡地区新設高等学校校名(案)について (学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男)

- ・校名(案)のうち、漢字表記の「未来」とするか、ひらがな表記の「みらい」とするかについて協議いただきたいことを説明。質問なし。

- (委員長) 事務局、あるいは小委員会担当として何か意見等あるか。
- (菊池由委員) 事務局案としてあげたひらがなを推したい。両校教職員で構成されている小委員会で時間をかけて検討を重ね、ひらがなと決定した経緯がある。
- (村山委員) 小委員会としては、地域の皆様の思いや両校との関わりを受け継ぐものとして「南昌」、幅広い年代の皆様にも親しまれるものとしてひらがな表記の「みらい」、ということを取りまとめている。小委員会としてはひらがな表記の「みらい」と考えている。
- (委員長) 他の委員のご意見を伺いたい。
- (浅沼委員) 前回の統合検討委員会でも述べたが、漢字が良い。筆あるいは行書で書くときに、漢字の方が見栄えが良い。
- (清川委員長) 表記の検討の参考になるような、他県の状況で分かることはあるか。
- (村山委員) 校名で漢字またはひらがなで「未来・みらい」がある高校は、福島県や北海道、茨城県、広島県等にある。漢字表記が多いが、ひらがな表記もある。
- (伊藤委員) ひらがなを推す。親しんでもらえるし柔らかい印象がある。さらに新設校であることを考えると、ひらがな表記の方が全く新しい学校を作るイメージに繋がる。
- (石川委員) 6対4でひらがなが良い。字面がやさしく新しさも感じる。漢字表記とすることで、盛岡南、不来方の両校から一字ずつ新校名に入れたいという両校関係者の気持ちは十分に理解できるが、「南昌」から連想するのはやはり「南昌山」であり、盛岡南高校の「南」を連想することは難しいのではないか。このことから、不来方高校の「来」の文字を無理に入れる必要はない。
- (工藤委員) 5.5対4.5でひらがなが良い。漢字もひらがなもそれぞれ良い面があり迷っている。南昌をひらがなにするなどいろいろ考えてみたが、総合的に考えてひらがな表記が良いと考えている。
- (女鹿委員) ひらがなが良い。私の周囲にいる様々な子どもたちにも聞いてみたが、ひらがなが良いとの意見が多かった。
- (菊地委員) 漢字が良い。同窓生にとっては、両校の漢字を残すことの重要性は大きい。両校の漢字を一文字ずつ残すために、漢字表記としてほしい。
- (大河原代理) 漢字が良い。同窓会長も同じ意見である。悩ましい問題ではあるが見栄えの点でも漢字の方が良い。
- (小岩委員) 6対4で漢字が良い。ひらがなの良さも理解できるが、漢字は左右対称であり見て気持ちが良い。また「来」という漢字にはプラス思考を感じる。
- (菊池広委員) 漢字にもひらがなにもそれぞれ良い点があるが、5.1対4.9でひらがなが良いと考えている。どちらにせよ、今後は学校の名前を周知していく必要がある。
- (多田委員) 5.1対4.9で漢字が良い。高校生という発達段階や主権者意識を持たせること等を考えると、漢字の方が良い。
- (委員長) 両案についてそれぞれ意見が出され、委員の皆様のお考えはしっかりと受け止めた。委員長としてはひらがな表記としていただきたい。両校の伝統を守り、先輩の想いを大切にしていきたいという部分は、今後進める学びや活動の中で実現し、認めていただけるようにしたい。いずれの校名に決まったとしても、生徒や地域に愛さ

れる学校にしていくことが学校としての責務である。いかに子どもたちに憧れや夢を持てる新しい学校だと思ってもらえるか、そこで新しい学びが行われていることを伝えていけるかが重要であると考えている。ご意見はあるか。

・委員からは特に意見なし。

(委員長) では校名は「南昌みらい」、「みらい」はひらがな表記で決定とする。

(安齊課長) 先に報告したように、本日の統合検討委員会の決定をもって県教育委員会の決定とすることとしているので、盛岡地区新設高等学校校名(案)はひらがな表記を用いた「岩手県立南昌みらい高等学校」とする。熱心な議論に心から感謝する。

(2) 学系名称(案)について(不來方高校副校長 菊池由美子)

・資料を読み上げて提案、説明。質問、意見なし。

[承認される]

(3) スクール・ポリシー(案)について(不來方高校副校長 菊池由美子)

・資料を読み上げて提案、説明。

(女鹿委員) ポリシーの中で、それぞれの学系の特色を盛り込むことは可能か。

<回答>ここで提案しているのは学校全体のポリシーであり、今後これをもとに各学系のポリシーを定めていく。その中で、学系ごとの特色を盛り込んでいく。

(女鹿委員) 地元を盛り上げるポリシーを加えると、地元の中学生からもっと関心を持ってもらえる、アピールができると思う。

(多田委員) ポリシーの並び順については一考の余地があるのではないか。学校教育目標と関連付けてポリシーを作成しているのだから、学校教育目標の並び順と整合性を取った方が良い。

<回答> 語句の加筆や並び順については改めて検討し、文言を調整する。

[承認される]

(4) 部活動(案)について(不來方高校副校長 菊池由美子)

・資料を読み上げて提案、説明。

(伊藤委員) 令和7年度時点でどの部活動があるのか、中学生が受検校を選ぶ際に重要な判断材料となる。いつ中学生に伝えられるのか。

<回答> 資料7ページにあるとおり、令和6年5月頃には周知したいと考えている。中学生が受検にあたって困ることがないように、可能な限り早く周知できるよう進めていく。

(石川委員) 合同チーム意向確認の内容について詳しく教えてほしい。

<回答> 統合する学校は、その2年前から合同チームをつくることができる。そのため、部毎に合同チームを作るかどうか意向を確認している。

(石川委員) 今の時点で、どの部が合同チームをつくるかどうかは判明していないのか。

<回答> 現在、各部の希望を確認中である。

(石川委員)中学生にとっては、合同チーム結成はデリケートな話。あまり規模が大きいチームになるのであれば、自分が活躍できるかどうかにもかかわってくる。今後公表する予定はあるか。

〈回答〉確定次第公表する。また、スケジュールにあるとおり、受検に差し支えないように時期を考えて周知する。部員数の多い部が合同チームをつくる可能性は低いと思われる。

[承認される]

(5) 学校制服の作成(案)について (盛岡南高校副校長 村山薫美)

- ・資料を読み上げて提案、説明。質問、意見なし。

[承認される]

(6) 校歌の決め方について (盛岡南高校副校長 村山薫美)

- ・資料を読み上げて報告。質問、意見なし。

[承認される]

(7) 校章の決め方について (盛岡南高校副校長 村山薫美)

- ・資料を読み上げて報告。質問、意見なし。

[承認される]

(8) その他

- ・議案なし

## 5 その他

- ・(不来方高校菊池副校長)第5回統合委員会の検討内容、時期設定について確認。

※午後2時36分終了